

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	学年・学科	3学年・全学科
教科書			副教材				

学習目標	運動の合理的・計画的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
学習方法	○2クラスまたは1クラスの共修での実技となります。 ○選択球技は屋内4種目、屋外3種目の中から期ごとに選択します。 ○体育理論は教科書とパワーポイントを使い学習します。

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考查	考查以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	前期中間	40%	0	40
			前期末	40%	0	40
			後期中間	40%	0	40
			後期末	40%	0	40
	b 思考・判断	豊かなスポーツライフの実現を目指して、課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、健康・安全について課題の解決を目指して考え・判断し、それらを表すことができる。	前期中間	15%	0	15
			前期末	15%	0	15
			後期中間	15%	0	15
			後期末	15%	0	15
	c 技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	前期中間	30%	0	30
			前期末	30%	0	30
			後期中間	30%	0	30
			後期末	30%	0	30
d 知識・理解	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論を理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	前期中間	15%	0	15	
		前期末	15%	0	15	
		後期中間	15%	0	15	
		後期末	15%	0	15	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	○集団行動 ○体づくり運動 ○スポーツテスト ○陸上競技	・学科としてのまとまりや、寮生活・実習等で規律を守るために集団行動を学びます。 ・体ほぐしや体力を高める運動など様々な体づくりの運動を学びます。 ・自分の体力を知るためにスポーツテストを行い、評価し、今後の体力作りに役立てます。	○	○	○	○	a: 集団としてのまとまりや、規律を守ることができる。準備・運営・片付けに積極的に取り組むことができる。 b: 安全に配慮した行動ができる。 c: 自分の体力の現状を把握し向上に取り組むことができる。 d: 自分の選択した種目の運動技能の理解ができる。	・行動観察 ・記録シート ・スキルテスト
前期末	○選択球技 (バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、ソフトテニス、ソフトボール)	・生涯にわたって楽しめそうな球技を選択し、技能を高め、ルールを学びます。 ・後期末まで3つの型を選択します。	○	○	○	○	a: 得意・不得意に関わらず意欲的に取り組むことができる。 b: 自分の課題を把握している。 c: 合理的に運動ができる。 d: 自分の選択した種目の運動技能、準備・運営・片付けへの取組、安全な行動ができる。	・行動観察 ・記録シート ・スキルテスト
後期中間	○選択球技 (バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、ソフトテニス、ソフトボール) ○体育理論	・生涯にわたって楽しむことができる種目を選択し学びます。 ・生涯スポーツ、豊かなスポーツライフについて学習します。	○	○	○	○	a: 仲間と連携して動きを高めてゲームが展開できる。 b: 自分の現状を把握し運動に取り組むことができる。 c: スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できている。	・行動観察 ・記録シート ・スキルテスト

後 期 末	○選択球技 (バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、ソフトテニス、ソフトボール)	・生涯にわたって楽しむことができる種目を選択し学びます。 ・3年間のまとめとして、最低2つの球技ができるように取り組みます。	○	○	○	○	a:得意・不得意に関わらず意欲的に取り組むことができる。 b:自分の課題を把握している。 c:合理的に運動ができる。 d:自分の選択した種目の運動技能、準備・運営・片付けへの取組、安全な行動ができる。	・行動観察 ・記録シート ・スキルテスト
-------------	---	---	---	---	---	---	---	----------------------------